

救急科専攻医の声をご紹介します

Q1 当院を選んだきっかけを教えてください

初期研修時、救急科では学ぶことが多く、やりがいを感じる一方で、素早く的確な判断を求められることに苦手意識を持っていました。今後の進路について悩んでいたとき、“苦手であるからこそ救急患者の対応を広く学ぶことができる救急科を専攻したい”と思うようになりました。当院救急科をローテートした際、全身を広く診ることができる先生が多く、手取り足取り日々濃密な指導を受ける中で、自分の目標が実現できると感じ、当院を選びました。



Q2 当院の強みや特徴は？

救急科と総合診療科を統合して診療を行っているため、
外傷や重症感染症などの救急疾患だけでなく、
膠原病や内分泌疾患などの幅広い疾患を経験することが可能です。
また、集中治療室における心臓血管外科や消化器外科の術後管理も
行っており、**generalist**、**intensivist** を目指す方にとっては理想的な環境です。
もちろん、救急外来業務にも携わるため、ショック患者の初療や外傷患者の
創部処置など様々な症例・経験を積むことも可能であり、
単一施設で集中治療を含む病棟業務から救急外来業務まで経験することができる点は
当センターの特徴です。



Q3 救急科専攻医を志す皆さんにメッセージをお願いします

救急科を志す上で、入院後の診療や集中治療を学ぶことは、今後の救急外来での診療にも絶対に役立つはずですよ。
私たちと一緒に働きませんか？まずは是非見学にお越し下さい。



重症や急変患者の対応の際、最初に声がかかるのは救急科です。生死の境にいる患者さんの対応はどれだけ数をこなしても緊張しますが、救命できた際の喜びはひとしおです。
また、複合的な問題点を有している患者さんへの対応が必要となるケースも多々あります。
幅広い疾患、病態に対する知識を持ち、適切な対応ができる救急医のニーズはますます増加していくものと思われ、当センターはそういった医師の育成が可能な施設のひとつではないかと自負しています。
言葉だけでは伝わらないことも多いと思いますので、興味のある方はぜひ実際に雰囲気を感じにお越しください！そして、気になることは何でもご相談ください！



プログラム責任者の前原です。
私たちと一緒に、楽しく研修しませんか？

救急総合診療センター
Saiseikai Kumamoto Hospital